

CUCM MediaSense コール記録エラー トラブルシューティング

目次

[はじめに](#)

[組み込みブリッジの基本的な MediaSense コールフロー](#)

[MediaSense の記録無し](#)

[IP 電話送信トラフィックを確認して下さい](#)

[パケット キャプチャを行って下さい](#)

[トラブルシューティング](#)

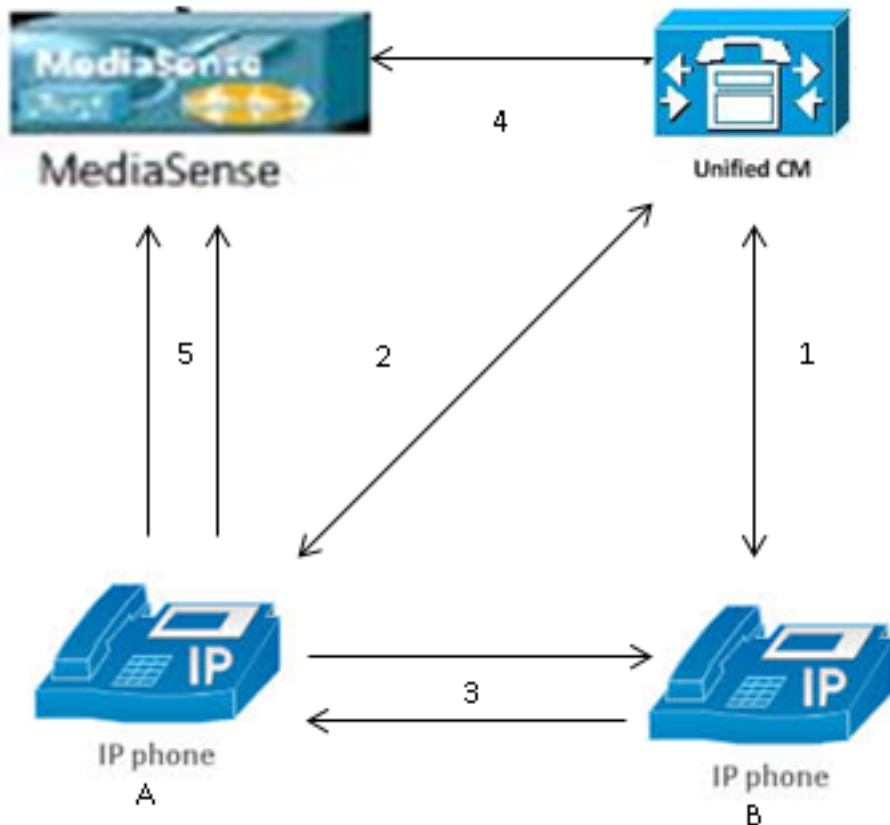
[重要事項](#)

概要

エラーが組み込みブリッジのためのコール記録に現われるときこの資料に MediaSense を解決する方法を記述されています。

組み込みブリッジの基本的な MediaSense コールフロー

このイメージは組み込みブリッジが使用されるとき基本的な MediaSense コールフローを説明します:



注: IP は A に有効に してもらいます記録を電話をかけます。

これらのステップはコールフローを記述します:

1. 右の IP 電話は左の IP 電話を呼出し、Cisco Unified Communications Manager (CUCM) によってコールを開始します。
2. CUCM は宛先電話に場合を送り、コールセットアップを完了します。
3. IP 電話 A と IP 電話 B 間の接続は今設定されます。
4. IP 電話 A の記録プロファイルはコールを受信するとすぐ、CUCM は MediaSense のセッションを設定する必要があると言います。これはミリ秒ステップ 3 が始まった後完了します。
5. コールは 2 台の電話の間で今設定されます、コールは組み込みブリッジによって分岐し、組み込みブリッジは MediaSense サーバに 2 つのリアルタイム転送プロトコル (RTP) ストリームを送信します。

MediaSense の記録無し

MediaSense に記録がないことを示すエラーを受け取れば、ログを調べ、このセッションID を捜して下さい:

```
0000049583: 10.201.227.136: May 28 2014 11:27:09.022 -0400: %CCBU_COMMON-6-VSMS
HTTP Info: {Thrd=Pool-capture-thread-2800} %[HTTP Response Body=<Session>
```

```
<diskusage>
  <recording name="78e146437088a93-TRACK0" size="0" repository="/
recordedMedia" />
  <recording name="78e146437088a93-TRACK1" size="0" repository="/
recordedMedia" />
</diskusage>
</Session>][HTTP Response Content Type=application/xml][HTTP Response Status
Code=200][logId=close-25668]: VSMS Received HTTP Response
```

この出力の **size="0"** はそのコールのためのサーバに記録されるオーディオがないことを示します。これは一般的に RTP ストリームが電話から MediaSense サーバに到達しなかったことを意味します。これが発生するとき、次のステップは電話が RTP トラフィックを送信することを確認することです。

IP 電話送信トラフィックを確認して下さい

IP 電話が RTP トラフィックを送信することを確認する簡単は IP 電話 Web ページを表示することです。これは Phone Configuration ページの内またはバルク Admin によって CUCM で手動で有効になります。

ストリーム 1 は他の IP 電話またはゲートウェイのリモートアドレスとの主要なコールです。これは 2 つのストリームで構成されています: 第 1 は IP 電話で受け取られ、第 2 がもう一方の端に送信されるオーディオのオーディオです。

MediaSense がコールレグの両方を記録することを確認するために、ページが複数回リフレッシュされる時送信側パケットが増分することを確認するためにストリーム 2 およびストリーム 3 をクリックして下さい。リモートアドレスはストリーム 2 およびストリーム両方 3. のための MediaSense サーバを示す必要があります。2 つのストリームが MediaSense サーバへあるという原因はそれらの 1 つがストリーム 1 (レシーバパケット) および他で受け取ったオーディオであるであるストリーム 1. のもう一方の端に (送信側パケット) 送信されるオーディオということであるといえます。

注: 以前に記述されている呼び出しフローダイアグラムについて、ステップ 3 はストリーム 1 であり、ステップ 5 の各レグはストリーム 2 およびストリーム 3. を示します。

このキャプチャはストリーム 1 を示します:



Streaming Statistics

Cisco Unified IP Phone CP-7962G (SEP0024C4FCFD26)

[Device Information](#)

[Network Configuration](#)

Network Statistics

[Ethernet Information](#)

[Access](#)

[Network](#)

Device Logs

[Console Logs](#)

[Core Dumps](#)

[Status Messages](#)

[Debug Display](#)

Streaming Statistics

[Stream 1](#)

[Stream 2](#)

[Stream 3](#)

[Stream 4](#)

[Stream 5](#)

Remote Address	10.99.23.249/24586
Local Address	10.99.23.250/22576
Start Time	20:55:16
Stream Status	Active
Host Name	SEP0024C4FCFD26
Sender Packets	2550
Sender Octets	438600
Sender Codec	G.722
Sender Reports Sent	0
Sender Report Time Sent	00:00:00
Rcvr Lost Packets	0
Avg Jitter	0
Rcvr Codec	G.722
Rcvr Reports Sent	0
Rcvr Report Time Sent	00:00:00
Rcvr Packets	2544
Rcvr Octets	437568

このキャプチャはストリーム 2 を示します:

注: ページのリモートアドレス セクションの IP アドレスおよびポートに注意することは重要です。これはテスト電話 コールのためのパケット キャプチャを奪取 するとき非常に重要です。



Streaming Statistics

Cisco Unified IP Phone CP-7962G (SEP0024C4FCFD26)

[Device Information](#)

[Network Configuration](#)

Network Statistics

[Ethernet Information](#)

[Access](#)

[Network](#)

Device Logs

[Console Logs](#)

[Core Dumps](#)

[Status Messages](#)

[Debug Display](#)

Streaming Statistics

[Stream 1](#)

[Stream 2](#)

[Stream 3](#)

[Stream 4](#)

[Stream 5](#)

Remote Address	10.201.227.147/40676
Local Address	0.0.0.0/0
Start Time	20:55:16
Stream Status	Not Ready
Host Name	SEP0024C4FCFD26
Sender Packets	3273
Sender Octets	562956
Sender Codec	G.722
Sender Reports Sent	0
Sender Report Time Sent	00:00:00
Rcvr Lost Packets	0
Avg Jitter	0
Rcvr Codec	None
Rcvr Reports Sent	0
Rcvr Report Time Sent	00:00:00
Rcvr Packets	0
Rcvr Octets	0

このキャプチャはストリーム 3 を示します:



Streaming Statistics

Cisco Unified IP Phone CP-7962G (SEP0024C4FCFD26)

[Device Information](#)

[Network Configuration](#)

Network Statistics

[Ethernet Information](#)

[Access](#)

[Network](#)

Device Logs

[Console Logs](#)

[Core Dumps](#)

[Status Messages](#)

[Debug Display](#)

Streaming Statistics

[Stream 1](#)

[Stream 2](#)

[Stream 3](#)

[Stream 4](#)

[Stream 5](#)

Remote Address 10.201.227.147/33358

Local Address 0.0.0.0/0

Start Time 20:55:16

Stream Status Not Ready

Host Name SEP0024C4FCFD26

Sender Packets 4217

Sender Octets 725324

Sender Codec G.722

Sender Reports Sent 0

Sender Report Time Sent 00:00:00

Rcvr Lost Packets 0

Avg Jitter 0

Rcvr Codec None

Rcvr Reports Sent 0

Rcvr Report Time Sent 00:00:00

Rcvr Packets 0

Rcvr Octets 0

ストリーム 2 およびストリーム 3 のデータを確認するとき、探すキー事柄は次のとおりです:

- リモートアドレスは MediaSense サーバの IP アドレスです。
- 各ストリームのポート番号はユニークです。
- ページをリフレッシュするとき、送信側パケットの数は増加します。これは RTP パケットが IP 電話によって送信されることを示します。

パケット キャプチャを行って下さい

IP 電話は RTP パケットを送信するかどうかそれでも不確実なら、次の企画はパケット キャプチャを行い、ストリームを再生することです。

パケット キャプチャを行う前に、CUCM のための IP 電話設定のこれらの設定が有効になるようにして下さい:

- PC ポートへのスパン

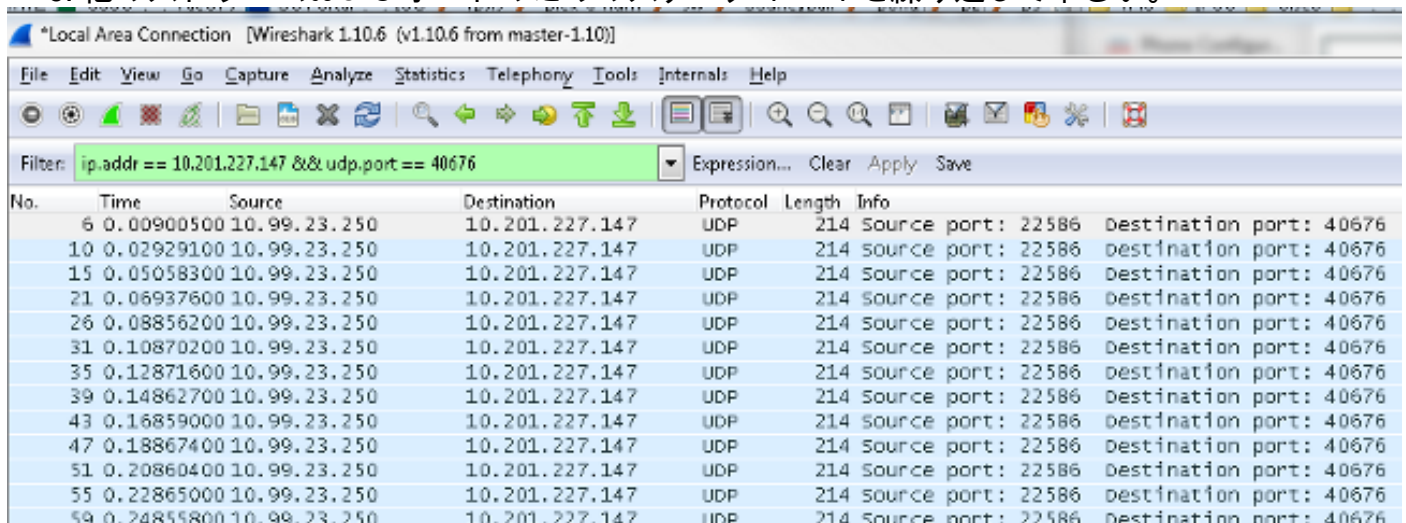
- PC Voice VLAN アクセス
- PC ポート

それから、設定を適用し、IP 電話をリセットして下さい。これが完了した後、開いた Wireshark は 30秒 期間のパケット キャプチャを奪取し。ストリーム 2 および疑わしい IP 電話のストリーム 3 のためのリモートアドレス、またポートを記録するようにして下さい。次に、例を示します。

- ストリーム 2 - 10.201.227.147/40676
- ストリーム 3 - 10.201.227.147/33358

パケット キャプチャが完了した、パケット キャプチャを開き、各ストリームのためのこれらのステップを完了して下さい:

1. `ip.addr == 10.201.227.147 && udp.port == 40676` によってフィルタリングして下さい。
2. 分析するために > デコードようにナビゲートして下さい。
3. ポップアップ ウィンドウで、RTP を『OK』 をクリック選択して下さい。
4. テレフォニー > RTP > ストリーム 分析にナビゲートして下さい。
5. RTP ストリーム 分析では、プレイヤー > デコード > 演劇にナビゲートし、コールのレグが両方とも聞かれることを確認して下さい。
6. 他のストリームおよびポートのためのステップ 1 ~ 4 を繰り返して下さい。



The screenshot shows the Wireshark interface with the following details:

- Filter: `ip.addr == 10.201.227.147 && udp.port == 40676`
- Table of captured packets:

No.	Time	Source	Destination	Protocol	Length	Info
6	0.00900500	10.99.23.250	10.201.227.147	UDP	214	Source port: 22586 Destination port: 40676
10	0.02929100	10.99.23.250	10.201.227.147	UDP	214	source port: 22586 Destination port: 40676
15	0.05058300	10.99.23.250	10.201.227.147	UDP	214	Source port: 22586 Destination port: 40676
21	0.06937600	10.99.23.250	10.201.227.147	UDP	214	source port: 22586 Destination port: 40676
26	0.08856200	10.99.23.250	10.201.227.147	UDP	214	Source port: 22586 Destination port: 40676
31	0.10870200	10.99.23.250	10.201.227.147	UDP	214	source port: 22586 Destination port: 40676
35	0.12871600	10.99.23.250	10.201.227.147	UDP	214	source port: 22586 Destination port: 40676
39	0.14862700	10.99.23.250	10.201.227.147	UDP	214	Source port: 22586 Destination port: 40676
43	0.16859000	10.99.23.250	10.201.227.147	UDP	214	source port: 22586 Destination port: 40676
47	0.18867400	10.99.23.250	10.201.227.147	UDP	214	Source port: 22586 Destination port: 40676
51	0.20860400	10.99.23.250	10.201.227.147	UDP	214	source port: 22586 Destination port: 40676
55	0.22865000	10.99.23.250	10.201.227.147	UDP	214	source port: 22586 Destination port: 40676
59	0.24855800	10.99.23.250	10.201.227.147	UDP	214	Source port: 22586 Destination port: 40676

トラブルシューティング

パケット キャプチャを行った、問題に出会い続ける MediaSense は正しく設定されること、そして IP 電話は MediaSense サーバに有効な RTP ストリームを、および送信すること確認する後そしてサーバと IP 電話間のパスはチェックする必要があります。

パスにアクセス コントロール リスト (ACL) がないこと、そして RTP トラフィックをブロックしないし、フィルタリングしないようにして下さい。

重要事項

CUCM と設定されるコールが疑わしい場合、詳しい CUCM への外観は記録し、MediaSense をログオンします呼び出しIDを見つけるために順序を開きます。これはセッションIDから見つけることができ呼制御ログでこれに類似したに検知します:

```
0000049583: 10.201.227.136: May 28 2014 11:27:09.022 -0400: %CCBU_COMMON-6-VSMS
HTTP Info: {Thrd=Pool-capture-thread-2800} %[HTTP Response Body=<Session>
<diskusage>
  <recording name="78e146437088a93-TRACK0" size="0" repository="/
recordedMedia" />
  <recording name="78e146437088a93-TRACK1" size="0"repository="/
recordedMedia" />
</diskusage>
</Session>][HTTP Response Content Type=application/xml][HTTP Response Status
Code=200][logId=close-25668]: VSMS Received HTTP Response
```

IP 電話が MediaSense の 2 つのストリームを設定したので、オリジナル電話の各レグのための 1 つは、MediaSense セッションがきちんと設定されるかどうか確かめるために呼び出しID の 1 の CUCM ログを検索します。